



2023年度 文章読解・作成能力検定

2級D 検定問題

検定日：2024年2月11日(日)

検定時間：90分

開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。

<注意事項>

■受検について

- 氏名、生年月日、会場名（団体名）、会場番号を、答案用紙のそれぞれの欄に大きく、丁寧に、はっきりと書いてください。
- 検定開始後に問題冊子を開いて、問題の印刷が不鮮明な部分や、ページの落丁・乱丁などがあれば、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 問題冊子の余白は自由に利用してください。

■解答について

- 答えはすべて答案用紙の解答欄に、HB以上の濃い鉛筆、またはシャープペンシルで記入またはマークしてください（ボールペンや万年筆などは使わないでください）。
- マークはきれいにぬりつぶしてください。間違っマークしたものは、鉛筆の黒いあとが残らないように消しゴムできれいに消してください。
- 選択式問題では、問題文で指定された数だけ解答欄の記号をマークしてください。マークの数が指定された数と異なる場合は、採点の対象となりません。
- 記述式問題で解答の行数が指定されているとき、行数が不足した場合または行数を超えた場合は、採点の対象となりません。
- 答案用紙を破ったり、汚したりしないでください。
- 提出する前に消しゴムのカスが残らないように払ってください。



公益財団法人 日本漢字能力検定協会

[不許複製]

年

組

番

氏名

第1問 K大学のボランティアグループが大学構内でスタンプラリーを開催しました。次は、そのグループの大学生が、活動後に作成したレポートの構成表です。これを読んで、下の問い（問1・問2）に答えなさい。（30点）

【レポートの構成表】

標題：小学生向けスタンプラリー実施に関する調査報告

1 (①)

小学生（4年生～6年生）向けスタンプラリーが先日終了した。その報告として、ボランティアスタッフの意見をふまえ、次年度開催に向けての課題を明らかにする。

2 調査概要

「実施に関して気になった点」について、次の通り調査を行った。

- ・調査対象：当日参加のスタッフ30名。
- ・調査日数：スタンプラリー終了の当日から3日間。

(② 内容の数：2個 ※解答欄の記号を2つ選択すること)

3 (③)

回答の多かった内容の上位3つを示す。

- ・開催告知が遅れたため、例年よりも参加者が少なかった。
- ・参加者からの質問が相次いだが、適切に答えられなかった。
- ・遅刻者全員の参加を認めたため終了時間が30分遅くなった。

4 取り組むべき改善点

上記の内容をふまえ、次年度開催のための課題と提案を次の通り報告する。

- ・各方面への案内は遅くとも1か月前に開始するよう準備する。次年度は今年度よりも2週間開始を早める。

(④ 内容の数：2個 ※解答欄の記号を2つ選択すること)

以上

問1 構成表中の空欄①・③に入る見出しとして最も適切なものを、A～Fのうちから1つずつ選びなさい。

- | | | |
|------------|-----------|---------|
| A スタッフの改善点 | B 調査結果 | C 調査の背景 |
| D 調査のきっかけ | E 運営上の注意点 | F 報告の目的 |

問2 構成表中の空欄②・④で述べる内容として適切なものを、ア～エのうちから2つずつ選びなさい。(完全解答)

1 空欄②

- ア ・調査方法：アンケートフォームへの自由記述。
- イ ・調査上の注意点：次年度もボランティアスタッフとして活動してもらえるよう、アンケート協力への謝礼を準備する。
- ウ ・調査対象者：スタッフ30名全員から回答を得ることができた。協力に感謝したい。今後、収集されたデータを詳細に分析していく。
- エ ・集計方法：集まった記述内容をトピックごとにまとめる。

2 空欄④

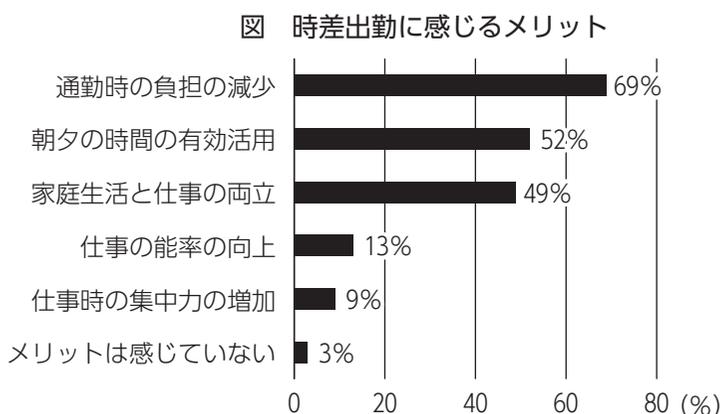
- ア ・スタンプラリーに興味をもつ人を増やすため、参加募集の対象を中学生にまで広げることを提案する。
- イ ・想定されるFAQを事前に作成し、スタッフ間で共有しておくことが必要だ。
- ウ ・ケガや事故など大きなトラブルなく終了した。保護者からの評判もよく、ボランティア活動が地域に定着してきたと言える。
- エ ・遅刻者への対応についてマニュアル化しておく必要がある。何分まで遅刻を認めるかなど、引き続き検討していく。

第2問 次は、ある企業が導入した「時差出勤」に関するレポートです。これを読んで、この文章を要約します。後に示した要約文を完成させるために、下の問い（問1・問2）に答えなさい。（40点）

ある企業が、時差出勤を導入した。従来は8時30分から8時間となっていた勤務時間帯を、社員ごとに前後90分の範囲でずらしてよいとしたものだ。ねらいは、共働き世帯や核家族の増加などライフスタイルの多様化に伴い、働き方に柔軟性を与えることや、それによる業務の効率化や生産性の向上である。

次の図は、社員が時差出勤によりどのようなメリットを感じているかを調査した結果だ。この企業の社員1300名を対象として、時差出勤の導入から半年後に行ったもので、自由回答で複数答えてもらったものを整理して図に示した。

まず、図で最も多いのは69%とほぼ7割の回答があった「通勤時の負担の減少」だ。これは時差出勤によって通勤ラッシュを避けられるためのメリットだろう。ラッシュ時の混雑や渋滞による肉体的な疲労、精神的なストレスがともに軽減されたということだ。



続いて、「朝夕の時間の有効活用」「家庭生活と仕事の両立」がそれぞれ52%、49%と約5割の回答を得ている。前者は、趣味や勉強の時間が取れるようになった、朝食や夕食をゆっくり楽しめるようになったなど、自分自身のための時間の充実を表している。後者は、家事や育児、介護などにあてる時間が増えた、精神的な余裕をもってそれらを行えるようになったなど、家庭での役割のための時間の充実を表している。両者の結果から、時差出勤によって、より豊かで余裕のある生活が可能になったということが推測できる。

これらの結果を見ると、快適に通勤し、ライフスタイルの充実をはかることができるようになったという点で、ライフスタイルに合わせて働き方に柔軟性を与えるという時差出勤のねらいがある程度達成できていることがうかがえる。ただし、図からは「仕事の能率の向上」「仕事時の集中力の増加」がそれぞれ13%、9%と1割前後にとどまっていることも読み取れる。時差出勤のねらいとして、業務の効率化や生産性の向上も挙げられている。しかし、それらについては、ということだ。この点が課題として残るところだろう。

第3問 次の、状況を説明した文章を読んで、下の問いに答えなさい。(50点)

あなたはある照明器具メーカーの社員であり、生産ラインの整備を担当しています。生産ライン効率化の方法を検討するために、昨日、ある食品メーカーの弁当工場を見学しました。工場では、担当者の西村さんの案内を受けました。あなたは、その感想を職場の先輩に次のように話しました。

「西村さんのおかげで、生産ラインでの最新機器の活用について、いろいろな取り組みを見ることができましたよ。なかでも勉強になったのは、ロボットに弁当の盛り付けをさせて従業員はそのチェックだけを行うとか、腕時計型端末を使って生産管理を行うとかの取り組みですね。うちの会社の方が進んでいる取り組みもあったけど、うちの会社の生産ラインを効率化するのに、とっても参考になりそうですよ。」

あなたは、担当者へのお礼状を書かなければなりません。先輩からは、「西村さんに、いま君が話したことを失礼がないよう伝えること」とのアドバイスを受けたので、それに従います。

問 上の状況をふまえて、手紙を書きます。下の手紙の空白部分を補って完成させなさい。ただし、次の条件を守ること。

条件1 手紙の日付、宛名、差出人名は省略すること。

条件2 結びのあいさつ・結語も忘れずに書くこと。

条件3 手紙は提示した文章に続くように、1行22字のマス目に横書きで、必ず10行以上、17行以内で書くこと。なお、句読点も1字として数える。句読点が行頭にきたときは、前行末欄内または欄外にうってよい。

注 意 行数不足または行数超過の場合は採点の対象となりません。

前略

先日は、貴社の弁当工場をご案内いただきありがとうございました。

第4問 「教育や指導の際に、「ほめて伸ばす」のは効果的である」という考え方の是非について、次の文章をヒントにして考え、論説文を書きなさい。下の条件を守ること。(80点)

学校の後輩や会社の新人を教育したり指導したりする際に、「ほめて伸ばす」という方法のよしあしが話題になる。その一方で、「私はほめられて伸びるタイプです」と公言している人もいるらしい。

たしかに、ほめられれば気分はいいだろう。それがほめられた人の成長につながり、人材育成にも役立つとなれば、なかなかいい方法である。しかし、この「ほめて伸ばす」というのは、ほんとうに効果的なのだろうか。ほめることによって生じる弊害もあるのではないか。ここで「ほめて伸ばす」ことについて改めて考えてみたい。

条件1 論説文は次に示す順序で4つの段落に分けて書くこと。

第1段落：「教育や指導の際に、「ほめて伸ばす」かどうか」について、出来事やあなたの体験、知識を述べる。ただし、上の文章を要約・引用する必要はない。

第2段落：教育や指導の際に、「ほめて伸ばす」のは効果的であるか、効果的ではないか、どちらかの立場に立って意見を述べる。

第3段落：意見の根拠を論理的に説明する。

第4段落：第2段落の意見とは異なる意見を取りあげて、その意見が正しくないことを説明する。

条件2 1行22字のマス目に横書きで、必ず27行以上、34行以内で書くこと。句読点も1字として数える。句読点が行頭にきたときは、前行末欄内または欄外にうってよい。

注 意 行数不足または行数超過の場合は採点の対象となりません。

検定日・検定を行う時間・問題回収などについて公正でないと
思われる点がありましたら、当協会までお知らせください。

電話番号：0120-509-315 (無料)

受付時間：月～金 9:00 ～ 17:00

(検定日とその前日の土・日は受け付けています)

